

北海道内のBCP
策定・実践事例

専務理事 河村 幹雄
事務局 長

平成29年8月30日

BCP(事業継続計画)セミナー

官公需適格組合

北広島道路維持協同組合の概要

代表理事 藤山 康雄

設立年月日 平成元年 1月11日

出資金 800万円

組合員数 16名

組合の地区 北広島市

組合員資格 土木工事又は運送業を行う事業者

常勤職員数 5名

主な受注品目 除雪事業、路面清掃、道路維持など

主な受注先 札幌開発建設部、北海道、北広島市



北広島道路維持協同組合

BCP (事業継続計画) セミナー

1 BCP (事業継続計画) 策定開始までの経過について

- 平成27年1月 平成26年度補正予算「組合等グループBCP策定補助金」が閣議決定。
- 平成27年2月 北海道中小企業団体中央会からBCP策定補助金について照会を受ける。
- 平成27年3月 中央会の担当課長から再度、策定取り組みの要請を受ける。
- 平成27年4月 組合理事会を招集し、各理事を説得のうえ了承を取りつける。
- 平成27年7月 事業継続力強化セミナーの開催。(7月29日)・・・組合員企業も取り組む様指導される。
- 平成27年8月 BCPの策定取り組み(ワークショップ)体制及び同時参加の組合員を確定した。

BCP (事業継続計画) セミナー

2 BCP (事業継続計画) 策定・運用までの実施経過について

● 事業継続力強化セミナーの開催

開催日 平成27年 7月29日 (水)

参加員数 31社 (36名)

指導講師 戦略ネットワーク協同組合

(講習内容)

災害国日本	BCP導入の効果
事業継続計画とは	導入事例の紹介
BCPの必要性	BCPの策定手順



北広島道路維持協同組合

BCP (事業継続計画) セミナー

2 BCP (事業継続計画) 策定・運用までの実施経過について

● 第一回BCP策定運用ワークショップ実施

実施日 平成27年 8月20日(木)

参加者 主催者側 3名、講師 2名、組合側 12名 (計17名)

(講習内容)

※. BCP講習会の復習

1. BCP基本方針の立案
2. BCPサイクルの運用体制確立
3. 中核事業と重要業務の選定
4. 自社が遭遇する災害の想定



BCP (事業継続計画) セミナー

2 BCP (事業継続計画) 策定・運用までの実施経過について

● 第二回BCP策定運用ワークショップ実施

実施日 平成27年 9月 2日(水)

参加者 主催者側 2名、講師 2名、組合側 10名 (計14名)

(講習内容)

- ※. 第一回目の再確認
- 5. 事業影響度分析と目標復旧時間の設定
- 6. リスクアセスメント
- 7. 初動対応計画



BCP (事業継続計画) セミナー

2 BCP (事業継続計画) 策定・運用までの実施経過について

● 第三回BCP策定運用ワークショップ実施

実施日 平成27年 9月16日(水)

参加者 主催者側 2名、講師 2名、組合側 11名 (計15名)

(講習内容)

- ※. 第二回目の再確認
- 8. 事業継続戦略の策定
- 9. BCP策定に係る報告書の作成
- 10. 訓練計画
- ※. 実践訓練活動について



BCP (事業継続計画) セミナー

3 BCP (事業継続計画) 策定の文書化について

● 三回のワークショップで検討した情報を整理し文書化

【ポイント】 BCP策定の目的とBCP発動時の初期行動及び発動条件の明確化

1) BCP策定の目的

- ① 組合職員、組合員の人命確保。
- ② 災害時に於ける二次災害防止行動の実施。
- ③ 住民被災者の救助など、地域貢献に人力する。
- ④ 被災の影響を出来るだけ受けない体質の組合組織の構築。

2) BCP発動時の初期行動

- ① 緊急事態が発生したら速やかに、顧客等へ被害状況を連絡すると、ともに、中核事業の継続方針を立案し、その実施体制を確立します。
- ② 中核事業継続方針に基づき、顧客・組合員対策・事業資源対策、財務対策を併行して進めます。
- ③ 緊急事態の進展・収束に合わせて、応急対策、復旧対策、復興対策を進めます。

BCP発動条件

地震の時は震度6以上、豪雪

風水の場合は北広島市が災害

対策本部を立ち上げた時点

目安とする。

BCP (事業継続計画) セミナー

4 BCP策定運用後の活動経過について

● BCP実践訓練の実施

実施日 平成27年12月22日(火)

参加者 主催者側 3名、講師 2名、組合側 14名 (計19名)

実施目的 実効性のあるBCP運用への取り組み及び非常時に於ける迅速な行動と対応の体験のため。

(実践内容)

組合員及び家族の安否確認。

予定していた除雪出動が可能か否かの確認

連絡を必要としている相手への交信の実践と所要時間の確認

種々の交信手段の実践と迅速な対応行動の体験

災害状況の確認

BCP (事業継続計画) セミナー

4 BCP策定運用後の活動経過について

● BCP運用・活動記録

年月日	活動項目	詳細など	備考
27.10.09	運用開始	事務局職員に運用開始を通知し、事前対策について協議した。	
27.10.24	重要業務継続に係わる事前対策	経営資源への事前対策として倒れ防止の部品を取り付けと必要なデータのバックアップを行った。	固定用部品取付or重要資料をUSBにバックアップし各自所持
27.11.25	周知・定着活動	代表者会議にてBCP運用開始と実践訓練の件を組合員各社に通知した。	
27.12.22	訓練活動	実践訓練を実施した。	1社欠席
28.01.14	模擬訓練	12:25 浦河沖震源の地震発生、北広島も震度4の揺れとなりBCP発動の基準には至らなかったが、模擬訓練として組合事務所と除雪センターの主な従事者の安否確認を実施した。	(組合事務所) 担当:河村 (除雪センター) 担当:鮫名
28.04.18	活動に関する協議	4月14日21:35分頃 熊本県にて震度6の地震発生。更に16日には震度7の本震が起き大災害となった事から災害への備えについて再確認した。	河村・鮫名・小原の3名にて重要業務継続について協議、活動の重要性を再認識した。
28.08.17	実践活動	9年ぶりに上陸した台風7号による水害の危険ありとの判断で、市の職員と終日パトロールを実施した。	道道or市道の道路及び河川の管理担当組合員も現場巡回。
28.08.30	実践活動	迷走を続けた台風10号が東北地方を横断し、日本海を北上。風による倒木被害発生。	市内全域の被害状況調査実施。
28.09.05	災害に対する備えの必要性を再確認	相次ぐ台風の通過により、南富良野周辺・十勝地方に甚大な被害発生。	被害状況確認のため、市内全域をパトロール。(9月6日)
28.09.15	北広島市の対応	一連の道内での台風災害を考慮し、北広島市は河川が氾濫した場合の浸水想定区域を載せたハザードマップを更新する事とした。	
29.06.02	北広島市の災害に対する対応の確認	北広島市が公表したハザードマップを確認、資料の訂正作業を行った。	
29.07.10	九州北部地方が集中豪雨被害	梅雨前線の停滞と台風3号により5日から6日にかけて時間100mmを越える大雨となり、40名以上の死者が出る災害となった。	昨年の北海道での台風災害もあり、備えの再確認を行った。

BCP (事業継続計画) セミナー

おわりに

● BCP策定・運用による効果の確認

- 1 重要業務の選定及び災害発生を想定した事業影響度の分析により、作業体制の見直しが出来、安否確認システムも導入出来た。
- 2 事業継続戦略の策定によりボトルネックとなる各必要資源の確認及び確保のための基本情報としてまとめることが出来た。
- 3 BCP導入により役員と従業員間のコミュニケーションが改善され、間接的ではあるが人材育成にもつながった。
- 4 BCP策定・運用の組合であることが多方面に認められ、信頼性の向上により受注量UPという大きな効果が確認出来た。

BCP (事業継続計画) セミナー

以上、弊組合のBCP策定・運用の体験を発表させていただきました。
今後も企業の競争力確保をめざし、継続して参りたいと思います。

ご静聴ありがとうございました。